

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年1月

応募者名：福岡市住宅都市局鉄軌道計画課

事業の名称：博多駅再整備事業

実施都市名：福岡市

事業目的

JR博多駅は、約36.5万人/日が利用する九州最大のターミナル駅であり、本市都心部の核を形成する地区である。

従前の博多口駅前広場は、自動車交通の処理を中心に整備され、大部分を車両空間が占めており、歩行者空間の不足や自動車と歩行者の交錯などの課題を有し、陸の玄関口としても魅力に欠けたものであった。

今回、H23年3月の九州新幹線の全線開業を契機に、交通結節点としての機能強化を図るとともに、賑わい・交流の拠点として、駅前広場の再整備を行ったものである。

事業概要

事業名称: 博多駅再整備事業

事業箇所: JR博多駅博多口駅前広場

事業面積: 約15,400m² ※JR九州用地を含む

事業費: 約12.3億円 ※JR九州1/2負担分を含む事業費

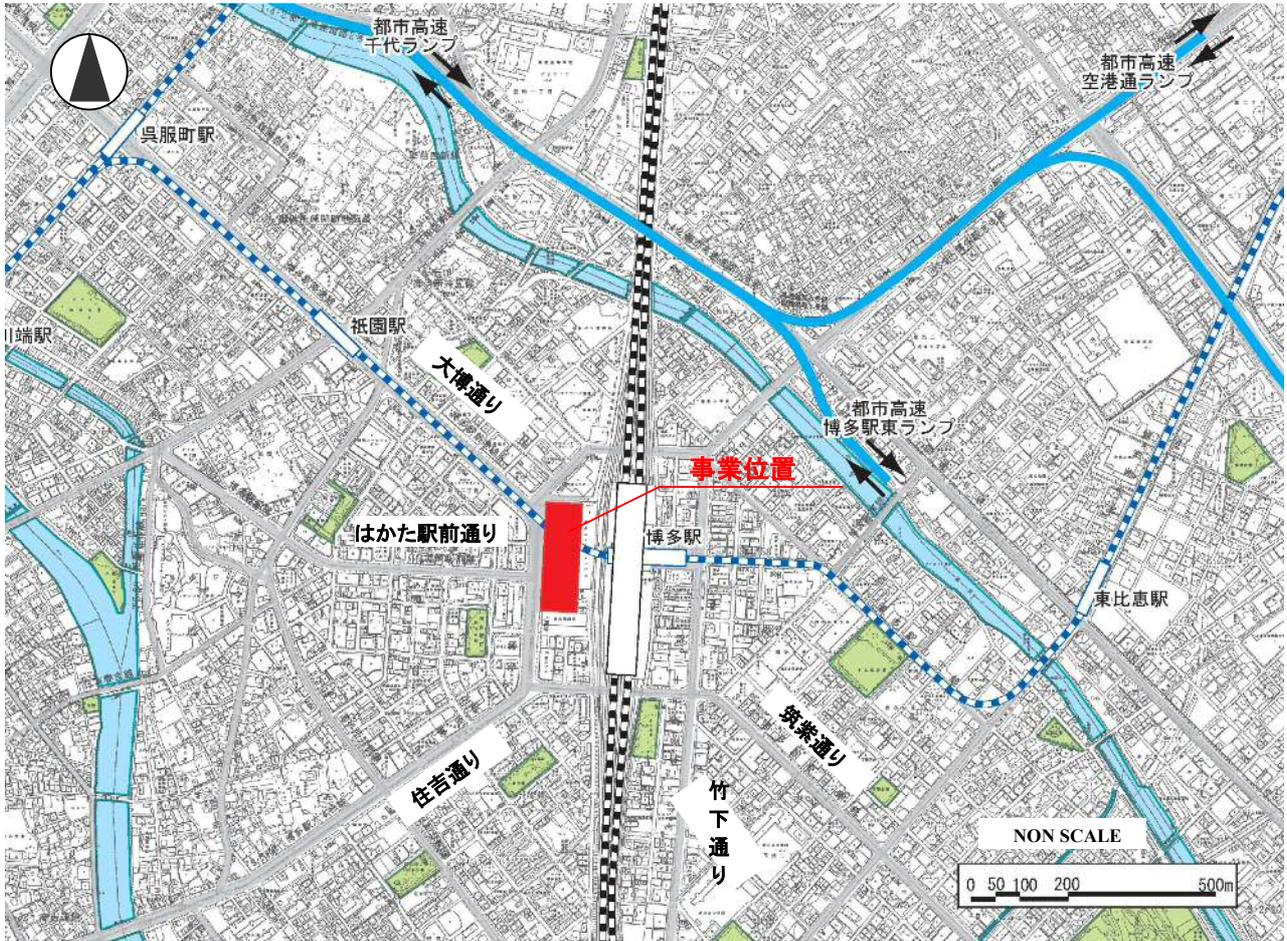
事業実施期間: 平成22年4月～平成23年3月

事業内容:

本事業は、博多口駅前広場を再整備したもので、交通機能の集約化等による歩行者空間の確保にあわせて、バリアフリー化のほか、シェルター、案内サイン等の整備を行い、交通結節機能の強化を図っている。

また、イベント等が可能な広場空間や、ケヤキ、モニュメント等を配した緑陰広場などを整備し、賑わいや憩いの空間を創出するとともに、新駅ビルや駅周辺の景観と調和した、魅力的な都市空間を形成しており、本市の都市拠点の強化に資する事業である。

事業位置図



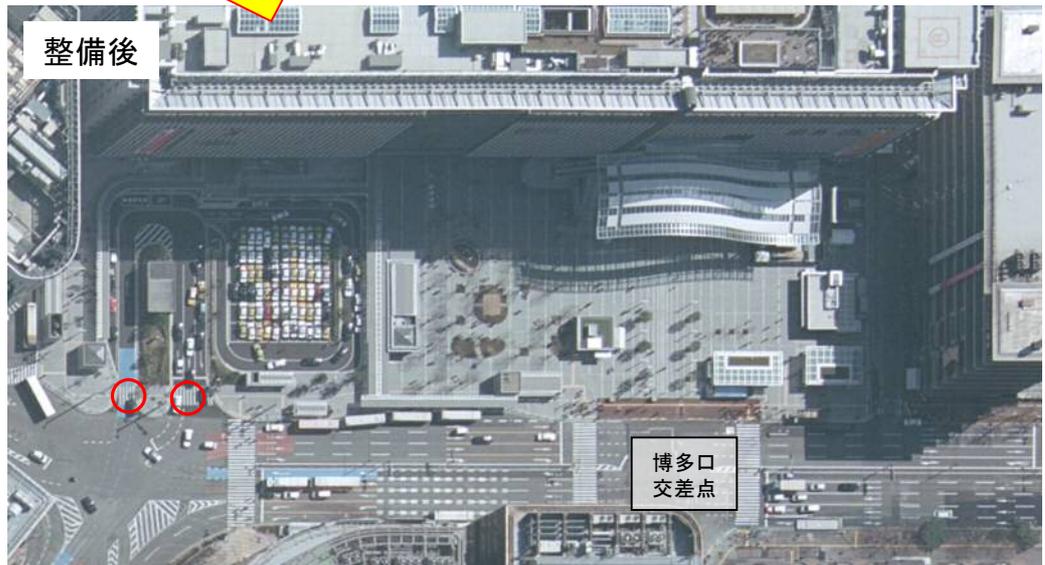
全体図(平面図)



博多駅博多口駅前広場の整備効果アピール資料



○ 自動車と歩行者の交錯箇所



○事業概要

事業名: 博多駅再整備事業

事業箇所: JR博多駅博多口駅前広場

事業面積: 約15,400㎡ ※JR九州用地を含む

事業費: 約12.3億円 ※JR九州1/2負担を含む

事業実施期間: 平成22年4月～平成23年3月

「整備効果・事業効果」

■ 安全で快適な歩行者空間の確保 → 交通結節機能の強化・回遊性の向上

- ・十分な歩行者空間の確保（従前: 歩行者空間のサービス水準B～D → 整備後: サービス水準A）
- ・自動車と歩行者の交錯箇所の解消（従前: 8ヶ所 → 整備後: 2ヶ所）
- ・バリアフリー化の促進、分かりやすく快適な乗り換え動線の提供

■ 賑わいや交流の創出 → 周辺まちづくりや都心の活力向上への寄与

- ・駅前広場内で駅周辺まちづくり等と連携したイベントなどを実施
 - イベント・広報活動等の実績（約20件/月 ※H23年度12月）
 - 周辺との連携事例：博多どんたく、博多祇園山笠、冬季イルミネーション事業 等

■ 陸の玄関口に相応しい魅力的な都市空間の形成

- ・新駅ビルと一体となり、本市の新たなランドマークを形成
 - 駅前広場として「H23年度グッドデザイン賞」（主催：日本デザイン振興会主催）を受賞
- ・地域住民・民間事業者の取り組みの誘発
 - 駅前広場のデザインにあわせた地下施設出入口の改修（民間施行）
 - エリアマネジメント団体等による景観形成に向けた取り組み 等

■ 駅周辺の交通の円滑化

- ・車両空間の集約化による、博多口交差点の混雑緩和への寄与

事業前写真



従前の駅前広場（平成16年撮影）

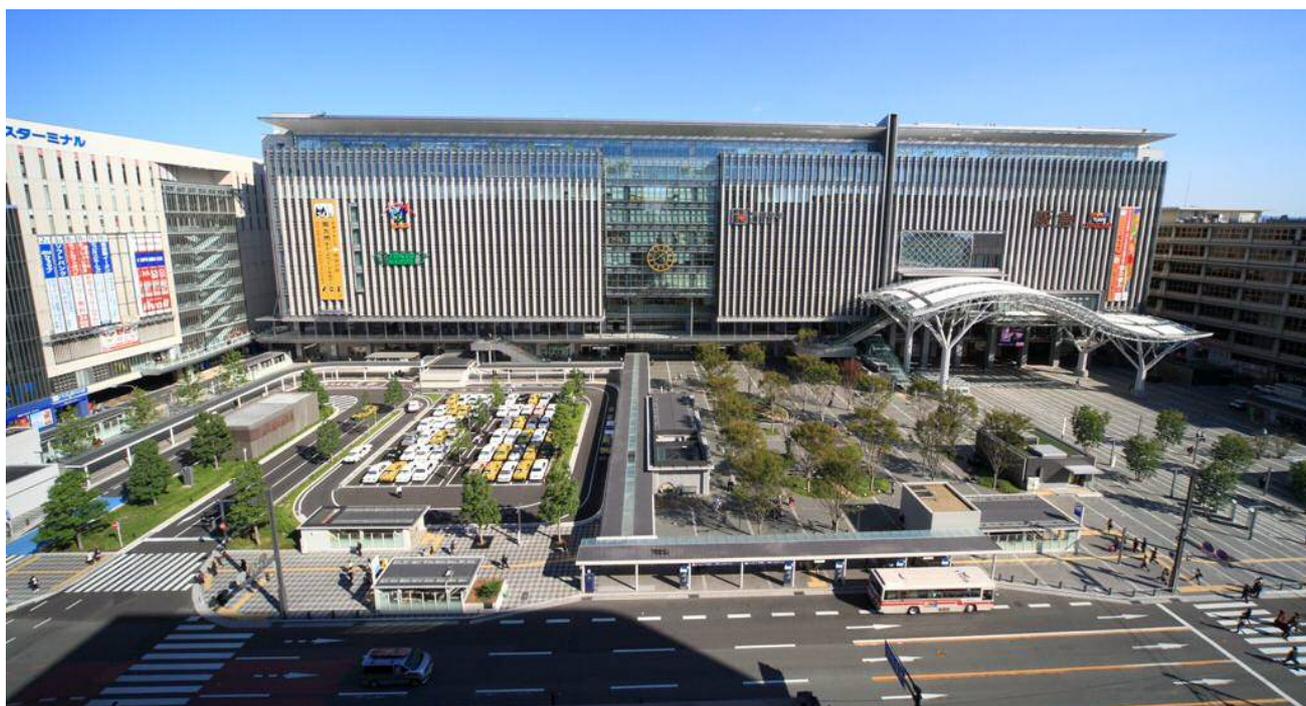


車両空間が占める駅前広場（平成16年4月撮影）



不足している歩行者空間（平成17年3月撮影）

事業後写真



再整備後の駅前広場（平成23年10月撮影）



左：車両空間、右：快適で分かりやすい歩行者動線（平成23年5月撮影）



左：緑陰広場、右：広場空間でイベントの様子（平成23年10月撮影）